

臨時会報告

令和4年度決算

定例会報告

議会活動報告

一般質問

■ 堀田 廣幸 議員

新型コロナウイルスの町民
感染者数と自宅療養者について

■ 矢野 哲也 議員

消防団員の減少について

■ 中武 良雄 議員

「人が元気、地域が元気、
住んで良かったと思える」
まちづくりについて

■ 荒川 浩 議員

ロシア・ウクライナ軍事侵攻後の町内
の農業実態はどう変化しているか

■ 久保 富士子 議員

子宮頸がんワクチン接種への
取り組みは

■ 桑原 勝広 議員

木城町日々新まちづくり条例について



令和5年9月議会

No. 142

発行所：宮崎県木城町議会
発行日：令和5年10月19日
印刷：有限会社 ぶくしげ印刷

議会だより

木城町議会

頑張る木城のその写真

第5回 臨時会

令和5年第5回臨時会は、8月2日の1日間の会期で開催され、旧木城小学校校舎解体工事を施工するにあたり、工事請負契約1件を可決しました。

工事契約については、地方自治法を根拠に木城町の条例で予定価格が5,000万円以上の工事契約は、議会の議決を得ることと定められています。

■旧木城小学校校舎解体工事負契約について【可決】
(9,020万円)



令和4年度 一般会計決算

歳入 77.6億円 (前年度比162千万円増)
歳出 75.3億円 (前年度比164千万円増)

※ 1千万円未満は四捨五入)

令和5年第6回定例会は、9月8日から8日間の会期で開催され、令和4年度一般会計及び特別会計の決算認定、令和5年度一般会計補正予算など町長より提案されました全12議案を認定、可決、同意としました。

決算審査特別委員会 審査報告

【決算認定】 (万円未満四捨五入)

令和4年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算認定(全6件)については、10名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置して、町長等及び担当課長に資料の提出と出席を求め、本会議場にて慎重な審議を行いました。

決算審査とは、予算執行の結果を総合的に確認・検証して予算効果と行政効果が発揮されているか、また、町の財政状況の実態を確認し、健全化及び適正化が図られているかを判断するための審査です。

令和4年度一般会計の歳入決算総額は、77億5650万円、歳出決算総額は75億2849万円です。

一般会計における歳入の財源構成は、自主財源57.8%、国県依存財源は42.2%で、町債(町の借金)の現在高は28億8025万円で、町民一人当たりに換算すると約59万円です。各会計の決算書のほか、監査委員による審査意見書や主要事業成果表などの資料を参考に、適正に予算執行が行われているか、また効果を十分に発揮しているかなど、執行部に対して質疑を行いました。

質疑においては、町有財産で未登記の数がいくつあるのか、登記は進んでいるのか、木城えほんの郷指定管理委託事業の今後の考え方、定住促進事業における移住者ネットワークの構築についてなど各種施策の現状など意義のある審査が行われました。

特別会計決算（単位千円：千円未満四捨五入）		R4年度	R3年度	増減
国民健康保険事業	歳入	758,438	698,268	60,170
	歳出	738,902	678,196	60,706
簡易水道事業	歳入	129,597	186,000	△56,403
	歳出	89,237	169,574	△80,337
下水道事業	歳入	307,330	265,193	42,137
	歳出	284,694	244,034	40,660
介護保険 (保険事業、サービス事業)	歳入	762,328	738,406	23,922
	歳出	750,520	728,416	22,104
後期高齢者医療	歳入	69,149	67,325	1,824
	歳出	68,837	67,059	1,778

決算審査特別委員会 審査報告

歳入は、自主財源の主な財源、歳出は、主要な事業について記載しています。

【歳入】 (万円未満四捨五入)

《町税》

■町民税 (1億5543万円)

・個人 1億3974万円

・法人 1569万円

■固定資産税 (19億9883万円)

■軽自動車税 (2440万円)

■町たばこ税 (2175万円)

《分担金及び負担金》

■保育料 (747万円)

《使用料及び手数料》

■住宅使用料 (5244万円)

《寄付金》

■一般寄付〔ふるさと納税〕 (6億8712万円)

〃〔企業版ふるさと納税〕 (500万円)

※自主財源の主である町税は、町民税が608万円増え、固定資産税が7500万円減っており、他の収入と合わせて約6755万円減っています。対前年比で3.0%の収入減となりました。

【歳出】 (万円未満四捨五入)

■物価高等緊急支援給付金事業 (1億4787万円)

新型コロナウイルス感染症の長期化により物価高騰の為、町民生活支援として町民1人あたり3万円が支給された。

■定住促進奨励事業 (3064万円)

移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）を中心に空き家バンクを活性化させ、移住希望者へスムーズな住まいの提供ができる仕組みを構築する。

■商工会プレミアム商品券発行助成事業 (8453万円)

コロナ禍における経済対策として町内の消費動向を活性化し、商工業の振興が図られた。

■新型コロナウイルス感染症対策事業 (3031万円)

町民の感染拡大防止を図るため、新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化に効果があるとされているワクチン接種に必要な体制を整備した。

■公共土木災害復旧事業 (4475万円)

台風14号の影響で町道のいたるところで倒木や土砂の流出が発生したが、交通網の早期回復が図れた。

■農業者トレーニングセンター体育室空調設備更新工事 (1140万円)

経年劣化による施設の故障に伴い、空調設備の更新工事を行った。

■義務教育学校校舎建設工事(1工区)令和3年度分繰越分 (2億6606万円)

みどりの杜木城学園の校舎建設分で、令和3年度からの工事の繰り越し分が令和4年9月に完成した。

■義務教育学校校舎建設工事(1工区)令和4年度分 (17億8120万円)

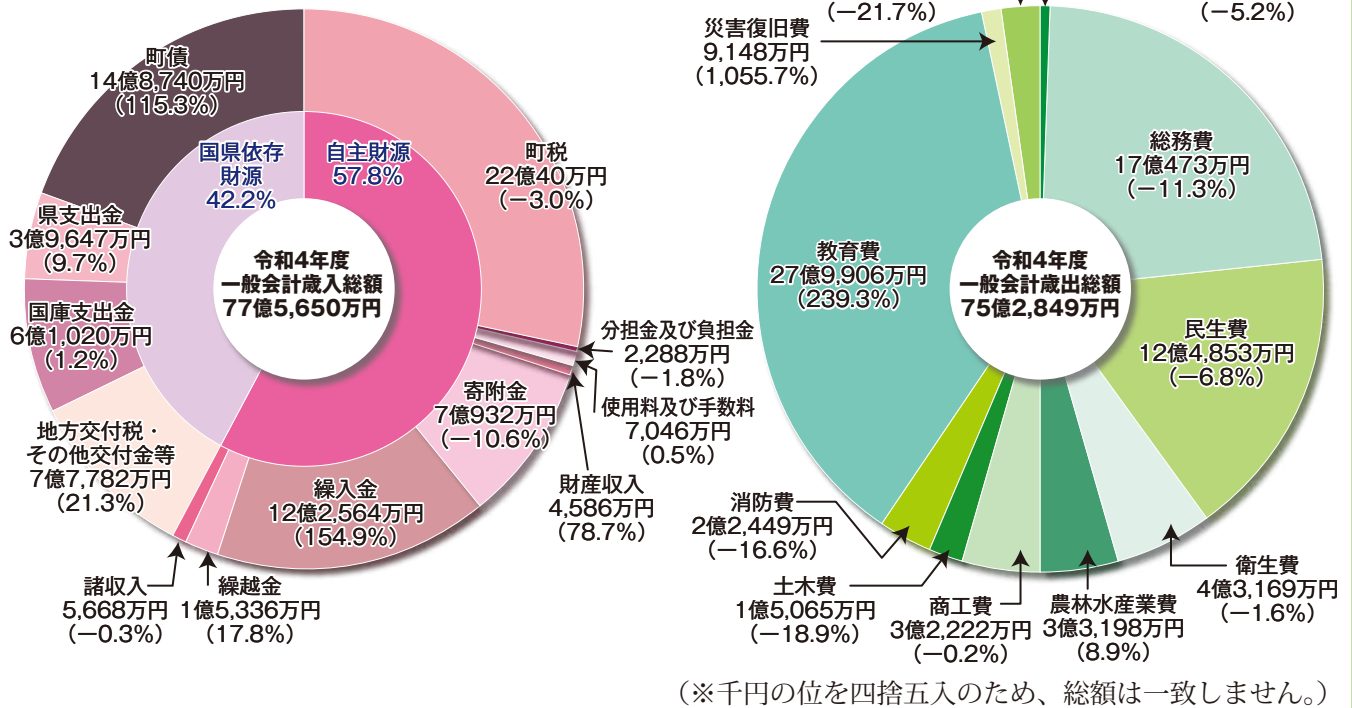
令和4年度分のみどりの杜木城学園の校舎建設工事が令和5年1月に竣工した。

■木城浄化センター計装・監視設備更新事業(令和4年度分) (989万円)

供用開始して利用している計器を更新した木音により、突発的なトラブルを防ぐことができる。

令和4年度 歳入・歳出決算円グラフ

令和4年度 歳入歳出決算 円グラフ



第6回 定例会

【報告】 4件

■継続費精算報告書について

みどりの杜木城学園の校舎建設にあたり、令和3年度から令和4年度にかけて事業を2カ年にわたり継続して工事を行っていましたが事業の終了により精算の報告がありました。建設工事費用は約25億6千万円でした。

■令和4年度健全化判断比率について

木城町における実質公債費比率（地方公共団体の収入に対する負債返済の割合）は、3.3%であり、昨年の3.6%を下回るとともに早期健全化基準数値の25%を大きく下回っていました。

■令和4年度資金不足比率について

木城町簡易水道事業特別会計及び下水道事業特別会計に資金不足は生じていないため、不足比率はありませんでした。

■教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について（点検・評価：一部抜粋）

①教育委員会の活動

義務教育学校開校に向け、校舎建設工事（第1工区）が完了し新校舎が完成した。義務教育学校開設準備委員会を開催し、開校に向け検討を行った。

②教育委員会が管理・執行する事務

義務教育学校の開設に向けて関係条例、規則

の改正を行った。

③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

旧木城中学校の体育館屋根改修工事を行い、体育授業や学校行事の運営上、安全な環境整備を行った。

総務常任委員会 審査報告

【補正予算・歳出】 (万円未満切り捨て)

【一般会計】

(総務財政課)

◎みどりの杜木城学園通学路区画線修繕工事

(231万円)

コーポ池田付近の交差点からみどりの杜木城学園までの路線。

◎消防団第6部機庫改築工事

(3415万円)

老朽化に伴い、防災倉庫を併設した消防機庫を建設。

(福祉保健課)

◎新型コロナウイルス予防接種(7回目)に係る管理システム改修業務委託

(43万円)

新型コロナウイルスワクチン接種者を管理するシステム改修です。

産業文教常任委員会 審査報告

- 【補正予算・歳出】** (万円未満切り捨て)
(環境整備課)
- ◎町営住修繕料 (360万円)
町営住宅の修繕費用の追加分
 - ◎機械器具借上料 (376万円)
台風6号に伴う機械借上料及び今後の災害の為の機械借上料。
 - ◎台風6号に伴う災害復旧工事費 (245万円)
中八重線路肩復旧及び菟木1号線舗装復旧外
- (産業振興課)
- ◎牛肉消費拡大PR事業助成金 (50万円)
物価高騰の影響による厳しい現状を踏まえ牛肉の消費拡大PRを支援する。
 - ◎森林環境整備事業委託料 (90万円)
町有林等の支障木の伐採委託料を今後の台風災害等に備えるため。
 - ◎森林を守る担い手支援事業 (250万円)
年間100万円以上の収入のある町内の林業経営体に装備品を補助し、作業の安全対策と林業経営体の育成と支援を図る。
- (まちづくり推進課)
- ◎木城ふるさとまつり実行委員会補助金増額 (200万円)
 - ◎木城町小規模企業者経営支援補助金 (183万円)
 - ◎えほんの郷改修工事費 (629万円)

教育委員会教育長の任命 について 【同意】

今回の定例会において教育委員会教育長の任命が全員賛成で同意されました。
任期は令和5年10月1日から4年間になります。

※教育長 ^{えり} 恵利 ^{しゅうじ} 修二氏



教育委員会委員の任命 について 【同意】

また、今回の定例会において教育委員会委員1名の任命が全員賛成で同意されました。

※教育委員 ^{かみにし} 上西 ^{ゆきこ} 幸子氏

令和5年 第6回定例会 (9月)

◆全員賛成で可決、適任とした議案等

◇令和4年度木城町一般会計歳入歳出決算認定について
◇令和4年度木城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
◇令和4年度木城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
◇令和4年度木城町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
◇令和4年度木城町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
◇令和4年度木城町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
◇令和5年度木城町一般会計補正予算(第3号)
◇令和5年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
◇令和5年度木城町介護保険特別会計補正予算(第2号)
◇令和5年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
◇教育委員会教育長の任命について
◇教育委員会委員の任命について

議員の一般質問を不許可にした経緯

一昨年より議会産業文教常任委員会において、政務調査の一貫として地域資源の活用をテーマの一つとして調査を続けていました。その中には、本町の森林資源を有効活用したJ-クレジット（森林資源を有効活用したカーボンニュートラル）の推進。

また、バイオマス発電事業（風倒木等の処理・防災面からの木質バイオマスの活用）の調査をしていました。その研修の中でエネルギー問題としてその当時話題となっている高レベル放射性廃棄物最終処分話がありNUMO（ニューモ：原子力発電環境整備機構）としては事業の趣旨普及の観点から現場を見てもらった方がいいということで青森六ヶ所村、北海道幌延町への視察研修となりました。この政務調査報告については令和4年12月定例議会において当時の産業文教常任委員長が報告しました。

この報告の内容について、町内外で木城町は高濃度放射能廃棄物の最終処分場誘致を積極的に進めているのではという憶測、噂が広まることとなり、皆様もご存じかと思いますが、近隣自治体の議員が「一般質問」として取り上げられた事もありました。

本町においては、議会はもとより町行政においても同施設を誘致する考えは全くなくこれまでずっと否定をして参りました。

今回、本町議員から同種の「一般質問」が通告されましたが、この件はもとより議会内の常任委員会調査による案件であり、議会においても町長

においても誘致については否定されていた案件であります。

当然、議員の一般質問の意義は大変大きいものであり、議長としては最大限の配慮をさせていただいています。今回、異例ではありますが、議会運営委員会委員長と事務局長による質問の趣旨確認、議会運営委員会での趣旨確認と協議を経た上で町民や周辺住民へ再び不安をあおる質問については適当ではないということで不許可相当であるとの協議結果でありました。一般質問は議長の許可を得て行なうことになる（議員必携より）ので、その結果もちまして質問不許可の判断をした訳ですが、各社新聞報道等で議員の質問不許可が取り上げられ、結果的に町民や周辺住民の方に不安を逆にあおることになり、非常に残念で申し訳なく思っています。

今後、このような噂や風評による被害が起こらないことを強く願います。

なお、9月議会において町長が高濃度放射線廃棄物の最終処分場に係る文献調査誘致をはっきりと否定されたことと、議会においても文献調査誘致については反対であることを申し添えます。噂や風評にご心痛をされた町内外の皆様にご心から陳謝を申し上げ本町議会議員の一般質問の不許可の経過をここにご報告致します。

木城町議会議員 甲斐 政治

「議員と語ろう会」の開催について

11月17日、19時よりリバリスで「議員と語ろう会」を開催いたします。お茶を飲みながら、気軽な気持ちで議員とお話しませんか。町内在住又はお仕事場が町内の方でありましたら、年齢を問わずどなたでも参加できます。

質疑応答のような堅苦しい会ではなく、飲み物を飲みながら気軽な意見交換の場としての開催を考えております。

- 期 日 11月17日（金曜日）
- 時 間 19時から20時30分（入退室自由）
- 場 所 木城交流センター（リバリス）2階 大会議室

お問い合わせ 木城町議会事務局 ☎0983-32-2213（直通）

お待ちしております！



6月

- 16日
 - ・議会広報編集特別委員会
(議会広報編集特別委員)
- 17日
 - ・第68回木城町消防操法大会
- 27日
 - ・議会広報編集特別委員会
 - ・木城町畜魂祭 (議長)
- 28日
 - ・2023原水爆禁止国民平和大行進宮崎県実行委員会来庁 (議長)
- 29日
 - ・児湯郡(市)町村議会議長会議員研修会
- 30日
 - ・第73回「社会を明るくする運動」木城町推進委員会 (総務常任委員長)

7月

- 3日
 - ・議会全員協議会
 - ・議会広報編集特別委員会
 - ・高鍋地区交通安全協会木城支部会計監査 (議長)
- 4日
 - ・高鍋・木城衛生組合議会臨時会 (副議長・総務常任委員長・議選監査)
- 5日
 - ・被爆78周年・原水禁九州縦断平和行進東児湯地区労組来庁 (議長)
- 6日
 - ・議会広報編集特別委員会 (議会広報編集特別委員)
- 10日
 - ・新田原基地周辺協議会総会 (議長)
- 19日
 - ・宮崎県町村議会議長会新議員研修会 (矢野議員・荒川議員)
 - ・令和4年度県道東郷西都線整備促進期成同盟会総会 (議長・産業文教常任委員長)
- 21日
 - ・令和5年度高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会他 (議長)
- 24日
 - ・第39回木城町肉牛枝肉共励会・表彰式 (議長・産業文教常任委員長)
 - ・第210回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会 (矢野議員)

25日

- ・宮崎県町村議会議長会議会運営委員会正副委員長研修会 (議会運営会正副委員長)
- ・第81回国民スポーツ大会木城町準備委員会 (議長)
- ・令和5年度木城町青少年育成町民会議総会 (議長)

8月

- 1日
 - ・議会運営委員会
 - ・議会全員協議会
- 2日
 - ・第5回木城町議会臨時会
- 15日
 - ・令和5年度木城町戦没者供養祭
- 18日
 - ・木城町シルバー人材センター要望活動来庁 (議長)
- 21日
 - ・宮崎政経懇話会六会場合同特別講演 (議長)
- 22日
 - ・県森林・林業活性化議員連盟連絡会議 (町森林・林業・林産業活性化議員連盟役員)
 - ・西都児湯森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会議役員会及び総会 (町森林・林業・林産業活性化議員連盟役員)
- 27日
 - ・石井十次交流会「石井十次セミナー」 (議長)
- 31日
 - ・児湯郡(市)町村議会議長会県知事、県議会議長要望活動 (議長)

9月

- 4日
 - ・議会運営委員会
 - ・議会全員協議会
- 5日
 - ・第212回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会 (議長)
- 8～15日
 - ・第6回木城町議会定例会
- 14日
 - ・木城町交通安全対策協議会 (議長)
- 16日
 - ・令和5年度第45回どんぐり保育園運動会 (副議長・総務常任委員)

新型コロナウイルスの町民感染者数と自宅療養者について

答 5月8日以降定点医療機関での把握ができなくなった。

問 本町の感染者数が発表されたのが、令和4年9月25日が最後で753人でしたが、第7波の途中でした。現在までの感染者数は。

答 町長
市町村別の発表がされていないので、把握出来ない。

問 自宅療養者数、自宅待機者についても、全く把握されていないのですか。

答 町長
感染法上や人権など、いろいろな問題があるので把握できない。

問 直近での町民感染者は、増加か減少か。

答 町長
実態の把握はできません。ただ波があることは確かだなという部分しか分かってない状況。

問 自宅療養者、待機者の食糧品等の宅配支援について、相談とか依頼はなかったか。

答 福祉保健課長
保健センター、役場等に問合せ等はありません。

答 町長
宅配支援も行う準備をし、相談体制も取っていたが、実績はなかった。

コロナウイルスに関する町長メッセージについて

問 町長メッセージの目的は。

答 町長
感染防止対策のお願い、協力要請、何よりも、困難を乗り越えるための激励が目的。

問 メッセージを令和4年3月7日で中止された理由と、今後の発信は。

答 町長
コロナウイルスの対処法も分かってきて、ひとつの区切りがついたと私なりに理解をした。今後は、急に中止するのではなく、時期を見て、適時適切に町長メッセージは発していく。



文化財無断廃棄問題の現状と解決策について

問 和解に至らない一番の理由は。

答 教育長
文化財処分問題第三者委員会報告書の中で決定した額について、納得を頂けなく解決に向かっていない。

問 この問題での、公金負担額は。

答 教育長
弁護士、裁判費用が約117万2,000円、第三者委員会費用が83万円、和解に至った方の賠償金が57万円で合計257万2,000円。

問 完全解決する見通しとその時期は。

答 町長
賠償金と謝罪文であります。ご理解ご納得を頂くことで、早い時期での解決を願っている。

問 令和5年度の文化財無断廃棄問題に関する予算額は。

答 教育長
弁護士費用として20万円計上。

問 弁護士費用が半額以下に減額された理由は。

答 教育長
13名中、9名の方が和解されており、予算を減額した。

問 債務不存在確認請求裁判での決着はないのか。

答 教育長
預かっていた文化財を、無くしたことの非を町として認めている。

答 町長
町から債務不存在確認請求裁判を起こすことはありません。



消防団員の減少について

答 地域住民の安心と安全を守る担い手でありますので、ぜひ確保したい。

問 近年消防団員数の減少に歯止めがかからない現状に、本町としての団員確保の取り組みは。

答 町長

少子化や若者の新規加入者が少ないというのが現状。

答 総務財政課長

消防団の活動が地域にとって必要不可欠であるということを強く認識し、団員確保に向けての積極的な取り組みを進めていく。

問 児湯郡管内において本町だけ機能別消防団員制度がないのはなぜか。

答 町長

既にある女性消防団員もひとつの機能別消防団と考える。

問 消防団の資機材整備の方針について。

答 町長

自然災害が多発、頻発化する中で被害の軽減、消防団の災害対応能力が向上する装備について順次計画的に進める。

答 総務財政課長

エンジンカッターやチェーンソーなどの装備についても必要と思っているので、整備を図っていく。

問 消防機庫及び資機材は本町の大切な財産であるが、管理体制を備えるため防犯カメラの設置の考えは。

答 町長

現段階では、防犯カメラを設置する考えはない。

問 避難所で使用される備品は十分に備蓄されているか。

答 町長

避難所で使用する食糧や備品は、まだ、十分とは言えない。

また、町民も自助という形で2～3日分の備蓄品を持ってきて頂けるとありがたい。

問 避難所の停電対策と、電気自動車の利活用についての検討は。

答 総務財政課長

現在、指定避難所の高城児童館、川原公民館、石河内公民館、中之又総合福祉センターは自家発電設備がないので、発電機を購入予定。

また、電気自動車の停電時の活用については大変必要だと思うので今後検討していく。

一緒に活動しませんか？



「人が元気、地域が元気、住んで良かったと思える」まちづくりについて

答 中之又より地域再生に取り組む



問 「新たな元気を創出する町」の取り組みとは。

答 町長

今年、町制施行50周年を迎え、希望ある未来を築くため、中之又地区より再生するために5つの課題を挙げた。

まず、地域が稼ぐ仕組みづくりをすること。民俗、文化、伝統芸能の継承。地域移住構想。まるごと移住ランド。有機農産物の振興に取り組む。今年度中に組織化を図っていく。

「未来を託す子どもたちが輝く町」について

問 子ども家庭センター開設と、児童館改築はどのように進めるのか。

答 町長

児童館、児童クラブ、子ども家庭センター一体型の施設整備を検討する。

「地域産業が元気になる町」について

問 新規就農者育成のためのトレーニングハウス、商工業の起業者育成のためのチャレンジショップの計画は。

答 町長

トレーニングハウスについては、過去にも質問があったが、早いうちに検討する。チャレンジショップについては、空き家、空き店舗を利用するなど商工会と相談して検討する。

「デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進」について

問 デジタル化推進を実施し、住民サービス向上とあるが、どのようなことを実施するのか。

答 町長

窓口業務のオンライン化、災害時の無人航空機(ドローン)の協定を結び、職員に資格取得を進める。また、民生委員にタブレットの貸し出しなどを実施したい。

答 町民課長

住民票などの証明書のコンビニエンスストア交付事業を開始する予定。

「堅実な町政を推進する町」について

問 ふるさと納税の推進とあるが、町長の目標額は。

答 町長

ピーク時で10億円確保した年度があるので10億円を確保したい。

問 ふるさと納税では、その地域の返礼品によって寄付額が大きく左右されるが、今後の取り組みは。

答 町長

ファンを増やすため、大都市圏にてフェアを実施し、さらにクラウドファンディング型のふるさと納税を検討していく。

「城山公園の整備」について

問 城山公園の史跡調査の進展は。

答 教育長

令和3年度、時計台の一番下の部分を調査したが遺物の出土や城の特徴を表す痕跡の発見には至りませんでした。4年度は調査なし、今後再度計画する。

問 高城合戦の様子など歴史年表などパネルを作成し展示できないか。

答 教育長

今後教材でも使える歴史パネルを作成し、展示できるようにしたい。

問 城山公園の桜の木の老木対策は。

答 まちづくり推進課長

業者が管理しているが、今後も植え替えなどは考えていく。

問 城山公園東側と南側の私有地に杉の木が密集しており、景観が悪く安全性にも問題があり、対策はできないのか。

答 まちづくり推進課長

この一帯が土砂災害警戒区域の指定となっているので、所有者と土木事務所で協議を進めていきたい。

ロシア・ウクライナ軍事侵攻後の町内の農業実態はどう変化しているか。



答 物価高騰対策を緊急にしなくてはならないと認識している。

問 ロシアが、ウクライナに軍事侵攻をし、大変な被害をもたらしています。家畜飼料、また、小麦など様々なものに影響がでている。

また、原油、肥料にも影響がでている。

物価上昇に対して、どのように考えているのか。

答 町長

私たちは今、コロナ禍、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、そして円安という状況で大変な思いで生活をする、あるいは生産活動に当たっている。

特に、物価高騰対策を緊急にしなくてはならないという認識でいる。

先だって町村会の役員の一員として、国、それから宮崎県選出の国会議員に対策のお願いをしている。

問 物価高騰に伴う子牛価格低迷の本町の施策は。

答 町長

大変厳しい経営環境である。そういった中、一貫経営の道も今後は考えるべき。

答 産業振興課長

子牛価格の下落につきまして、児湯家畜市場7月期の子牛取引価格は平均で50万5,125円です。昨年同月期につきましては、61万5,206円ということになりまして、約11万円ほど差が出ております。9月期の競りも平均で51万2,897円

ということで1万円位上がったのですが、まだまだ下落が続いております。下落の原因としては飼料、資材等の高騰によりまして肥育牛農家の経営が悪化したことに加えて、消費者が物価高によりまして牛肉の購入を控えるという傾向もあります。物価高騰等による支援と牛肉消費拡大に向けて取組を今後も進めていきたい。

農業後継者問題について

問 後継者がなかなか育っていない状況の中、農地、施設が余ることが懸念されるが、町としての考えは。

答 町長

農地の集積、あるいは集約を今していくのが農業委員の大きな仕事でありますので、これにつきましては、今後農業委員会とも相談しながら、農地の利用最適化に向けて集積や集約を進めていきたい。それから、空いているハウスや施設について、しっかりとまとめていくというのが今後求められていると思います。喫緊に課題を整理した上で、取り組んでいきたい。



子宮頸がんワクチン接種への取り組みは。



答 ワクチン接種、検診率向上、学校での啓発活動につとめる。

問 定期接種対象者の接種状況と子宮頸がん検診の受診率は。

答 福祉保健課長

12歳から16歳の女性を対象。接種率18.3%、検診受診率9.6%

問 若い世代への啓発は。

答 福祉保健課長

コスモス通信やホームページで案内。検診率を上げるために、さまざまな補助事業を実施。

問 キャッチアップ接種（積極的勧奨の差し控えによる接種機会を逃した方を対象に実施する接種）対象者は。

答 福祉保健課長

93名。接種率31.2%。対象者は17歳から26歳の女性。

問 キャッチアップ接種対象者が町外に転出した場合の接種は。

答 福祉保健課長

住民票のある市町村で管理・把握がなされており、キャッチアップ支援が行われている。

問 男性への接種で集団免疫効果が得られると考えられるが、男性へのワクチン接種助成の考えは。

答 町長

早々に支援する考えはない。

【意見】

男性が媒体となる可能性がある以上、出来るだけ早い段階で男性への接種を望む。

問 初回性交渉の低年齢化が進む中、早い段階での接種が望まれるが、学校・教育委員会・福祉保健課との支援体制における連携や取り組みは。

答 教育長

中学3年生を対象に講話を実施。啓発チラシ配布。福祉保健課と連携し、授業でも扱うよう検討する。

問 講話には保護者も参加したのか。

答 教育長

参加していない。

【意見】

学校保健委員会で保護者も交えた講演会を実施して欲しい。最終的な子宮頸がんワクチン接種の判断は、ご本人と保護者になるが、未来ある子どもたちの人生において、悲しい結果をうむことがないように、正確な情報と知識を得る機会を提供して頂けることを望む。

ヒトパピローマウイルス(HPV)



防災機能配備について

問 指定避難場所である「みどりの杜木城学園」の状況は。

答 町長

全てに対策を講じている。

答 総務財政課長

校舎内に防災倉庫完備。断水時のトイレ対策についても確保できている。

問 「みどりの杜木城学園」の避難者収容人数は。

答 総務財政課長

700名で想定しているが、状況次第では変動する可能性もある。

【意見】

全てクリアできているとの回答。今後も指定避難場所である「みどりの杜木城学園」に安心して避難して頂くことができると思う。

木城町制50周年記念プロジェクトの今後の考え方は。

答 次の50年の礎の種を蒔いていく。

問 町制50周年を迎え木城日々新まちづくり条例が施行され半年経つが、条例に関する考え方は。

答 町長

木城日々新まちづくり条例は、町民、議会、行政がより良いまちづくりに向かって、お互いに説明責任を果たしながら、知恵を出し合いまちづくりの理念を定めたものである。

問 今の50人体制でいくのか。

答 町長

各方面から、いろいろなあらゆる視点から意見を頂くという形で選出している。当分の間は、この50人委員会をベースにやっていく。

【意見】

町民主体の50人委員会であってほしい。

みどりの杜木城学園周り整備計画について



問 みどりの杜木城学園周り整備計画の進捗状況は。

答 環境整備課長

令和4年度から南九州大学との連携事業により、町民の交流、憩いの場となる公園づくりについてワークショップを開催している。

保育園、学校関係者、近隣住民などの方々を対象にアンケートを実施。今年度中にこれらの調査結果を基に公園整備の基本計画をまとめる。

問 解体する旧小学校南棟の跡地利用は。

答 総務財政課長

公共施設検討委員会で、児童館の建て替え、改装など、公園づくりも併せて継続的審議事項として検討中である。

問 みどりの杜木城学園及び関連工事等全体の工事金額は。

答 教育課長

本年までの学校建設本年整備金額は30億5,695万円。来年度が最終年度になるため、残る外構工事の金額は、令和6年3月の当初予算で提示する。



地方創生について

問 起業したい人が、新規事業を展開するチャレンジショップが必要ではないか。

答 町長

チャレンジショップは、商店街の空き店舗、ロケーションの良い空き民家が適切と考える。何よりもチャレンジショップをされる方がしっかりと強い覚悟と遺志を持ってされることが一番である。それを商工会とも連携して何らかの形で支援していく制度設計をしていく。



木城野球少年団 宮日旗優勝
県大会出場



木城学園テニス部 中体連優勝
県大会出場

頑張る! 木城っ子



どんぐり保育園運動会



めばえ保育園運動会



がんばれ!!



のゆり保育園運動会



議会傍聴をしてみませんか!

次の議会定例会は **12** 月です。
定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、
議会事務局までお尋ねください。

TEL.0983-32-2213 (直通)



議 長 甲 斐 政 治	発行責任者	委員	委員	副委員長	委員長	編集委員
		員	員	員	員	
		荒川	矢野	久保	眞鍋	
		浩	哲也	富士子	博	



木城町ホームページに議会情報を
掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、
会議録などをご覧いただけます。
〈URL〉 <https://www.town.kijo.lg.jp>



木城町HP



木城町議会HP

議会傍聴メーター

2023年4月議会から議会傍聴に
来られた人数です。

054